

事業名	新座市民総合大学
事業の特徴	市内の大学との連携による高度で専門的な講座の開設と修了生の活用（市内の大学との連携による高度で専門的な市民講座の開設、その修了生の各分野別のサポーター委嘱（環境保全、子どもの読書応援、観光ガイドなど））

実施機関名	新座市教育委員会教育総務部生涯学習課
連絡先	〒352 - 8623 埼玉県新座市野火止1-1-1 TEL 048-477-1111 FAX 048-482-4590 URL <a href="http://www.c-niiza.ed.jp/">http://www.c-niiza.ed.jp/</a>
事業規模	市区町村
事業主体	教育委員会
事業のテーマ分野	総合的な学習機会の提供

## 1 事業の概要

新座市民総合大学は市内の3大学（跡見学園女子大学、立教大学、十文字学園女子大学）との連携により開校している。

講師に3大学の教授等を迎えるとともに、講義内容についても、大学相当の高度で専門的なものを提供するため、学科制を採っている。

全講義の7割以上出席した受講生には、学長である新座市長から修了証書を授与するとともに、ボランティア活動への参加・協力希望者には、学習内容を生かせる分野のサポーターを委嘱し、学んだことを地域に還元できるような仕組みとなっている。

## 2 事業の趣旨、目的

市民生活を取り巻く環境は、余暇時間の増大、ライフスタイルや価値観の多様化、さらには少子・高齢化社会の到来など大きく変化を続けており、こうした様々な変化に伴い、市民の学習活動に対するニーズも「生きがい」や「心の豊かさ」と共に「学習成果を生かす場」を求めるなど多様化、高度化している。

こうした状況の下、新座市民総合大学は、平成12年度に市制施行30周年記念事業として開校し

た。本大学は、市民が自分を高め、地域を高める学習の場を創出し、学んだことを地域で生かし、市民一人一人が生き生きとした人生を送れるようにすることを目的としている。

### 3 事業の内容

#### (1) 学習の内容

##### ①開校時期

受講生は、6月から12月までの土曜日、全16回の講義を受講する。

##### ②学部学科

開設する学部学科は開校年度により異なるが、現代的課題をテーマとしたものを設置している。これまで、「国際学部あなたも国際人学科」、「福祉学部地域福祉学科」、「文化歴史学部新座の歴史を学ぼう学科」等といった学部学科を設置した。平成20、21年度については、「環境学部環境パートナーシップ学科」、「観光学部観光都市づくり学科」、「文学部子どもの読書応援学科」の3学部3学科を開設している。

##### ③カリキュラム編成

各学科には、市内3大学の教授から1名がコーディネーターとして就任し、学科のカリキュラム編成に当たる。コーディネーターは、講義内容のコーディネートのほか、講師の選定も行う。

##### ④講義内容

学科ごとにテーマを設定し、それに沿った講義内容としている。テーマ及び内容は、教養を深めるものであるとともに、修了後のサポーター活動も視野に入れて考えられている。

講義形態としては、教室での講義のほか、フィールドワーク（市内施設の見学等）や体験型（特産物のにんじんうどん作り等）の講義もあり、バラエティ豊かに構成されている。また、実習やディスカッション、グループワークといった、受講生参加型の講義も積極的に取り入れている。

##### ⑤各講義の講師

大学教授、研究者、民間団体職員、市民等、講義内容に応じて幅広く選任している。

【表1】平成21年度 観光都市づくり学科の講義内容（全16回のうち一部抜粋）

テーマ：つくろう 伝えよう 観光都市にいざ		
講義名	講師	会場
観光学講座 観光都市でまちづくり	立教大学 教授	立教大学
地域の文化を知る 平林寺	生涯学習課 学芸員	平林寺
地域の農業を知る 観光ぶどう園・農産物直売所	市内ぶどう園 園主	市内ぶどう園 農産物直売所
グループワーク ふるさと新座の魅力を語る (演習・発表)	立教大学 教授	立教大学



環境パートナーシップ学科 グループワーク



観光都市づくり学科フィールドワーク

## (2) 学習成果を活用したボランティア活動等の内容及び推進の方法

新座市民総合大学では、全講義回数の7割以上出席した受講生に対し、学長である新座市長から修了証書を授与している。修了生のうち、ボランティア活動への参加・協力希望者には、市が学習内容を生かせる分野のサポーターとして委嘱する。

【表2】平成21年度に委嘱したサポーターとその活動内容

修了学科	委嘱サポーター	サポーターの活動内容
環境パートナーシップ学科	新座市環境保全協力員	市が主催する環境関連事業や環境保全啓発活動への参加等
観光都市づくり学科	新座市観光都市づくりサポーター	市内の観光情報の収集及び観光PR活動への協力等
子どもの読書応援学科	新座市子どもの読書応援サポーター	図書館における「おはなし会」への協力等

さらに、上記サポーターのうち、新座市観光都市づくりサポーター委嘱者については、希望制で「観光ボランティアガイド養成講座」を受講することができ、養成講座修了後は市の観光ボランティアガイドとして活動している。

また、新座市子どもの読書応援サポーター委嘱者には、ステップアップ講座が準備されており、当講座受講者には、小中学校におけるブックトーク事業や乳児検診におけるブックスタート事業にもボランティアとして参加している。



観光ボランティアガイドとして活躍する  
新座市観光都市づくりサポーター



おはなし会で読み聞かせをする  
新座市子どもの読書応援サポーター

### (3) 推進体制等の仕組み

新座市民総合大学の運営に関する事項は、「新座市民総合大学運営委員会」で決定される。委員は、委員長である市長、副委員長である教育長のほか、市内3大学の教授及び市民の学識経験者の計10名で構成されている。

さらに、市内3大学と市教育委員会との協議の場として「大学ネットワーク新座」という協議会を設置しており、市内3大学との綿密な連携の下、本大学の運営に努めている。

また、本大学修了生に対するサポーターの委嘱については、市が行っており、委嘱後は市が実施する事業等にボランティアで参加・協力することとなる。

## 4 成果と今後の取組

表3のとおり、新座市民総合大学の応募者数は増加傾向にあり、特に近年は団塊世代の受講生が多く見られる。

また、サポーター委嘱者は、本大学で学んだことや委嘱者本人の培ってきた知識・経験を生かし、地域における様々な分野で活躍している。

今後は、市内3大学との連携をより一層強化し、本大学の内容を更に充実させるとともに、サポーター委嘱者の地域における活躍の場を拡充することが課題といえる。

【表3】近年の応募者数推移  
(3学科合計人数)

年 度	応募者数
19年度	99人
20年度	140人
21年度	150人

【執筆者の職・氏名】新座市教育委員会教育総務部生涯学習課 主事 西 珠世